

船舶事故等調査報告書

平成24年5月31日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第7号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成24年1月26日（木） 14時15分ごろ	
発生場所	千葉県富津市第2海堡南方沖 第2海堡灯台から真方位135° 300m付近 （概位 北緯35° 18.6′ 東経139° 44.6′）	
事故等調査の経過	平成24年1月27日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート ^{うみたか} 海鷹丸、5トン未満（長さ6.81m）	
船舶番号、船舶所有者等	235-28058神奈川、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、平成24年1月26日11時00分ごろ神奈川県横須賀市の係船場を出発し、第2海堡周辺の釣り場に向かい、11時30分ごろから釣りを開始した。</p> <p>船長は、第2海堡周辺で場所を変えながら釣りをを行い、第2海堡南方150m付近で船外機を前後進にかけながら釣り場を移動していたところ、14時15分ごろ警報盤で警報が鳴るとともに、船外機が停止した。</p> <p>船長は、船外機を再始動したもののすぐに停止したため、投錨後、海上保安庁に救助を要請した。</p> <p>本船は、来援した巡視船によって出発地にえい航された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：白波が立っていた。</p>	
その他の事項	<p>本船は、船尾部に船外機1基が設置されていた。</p> <p>船外機は、船尾外板に設けられた取付け台に取り付けられており、電気配線や燃料ホースは海水のしぶきをかぶるとともに、直射日光を浴びる状況であった。</p> <p>船長は、3～4年前に船外機を換装した。</p> <p>本船は、本インシデント後、修理会社が点検したところ、船外機の制御を行う配線の断線が認められ、断線部及びゴム製被覆内の銅線には錆が発生していた。</p> <p>船長は、通常、船外機をチルトアップして係留していた。</p> <p>本インシデント発生当時には、燃料は約80ℓ残っていた。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していた。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	あり
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	本船は、第2海堡南方沖において、船外機を前後進にかけながら釣り場を移動中、船外機の制御

		<p>用配線が断線したことから、船外機が停止して始動できなくなったものと考えられる。</p> <p>船外機の制御用配線は、海水のしぶきをかぶるとともに、直射日光を浴びてゴム製被覆が劣化している状況において、船外機のチルトアップ、ダウンが行われ、制御用配線の曲げと伸ばしが繰り返されてゴム製被覆が損傷したことから、浸水して錆が発生し、断線に至った可能性があると考えられる。</p>
原因		<p>本インシデントは、本船が、第2海堡南方沖において、船外機を前後進にかけながら釣り場を移動中、船外機の制御用配線が断線したため、船外機が停止して始動できなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
参考		<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劣化しやすい電気配線については、定期的に点検するとともに、劣化が認められた場合は早めに取り替えること。